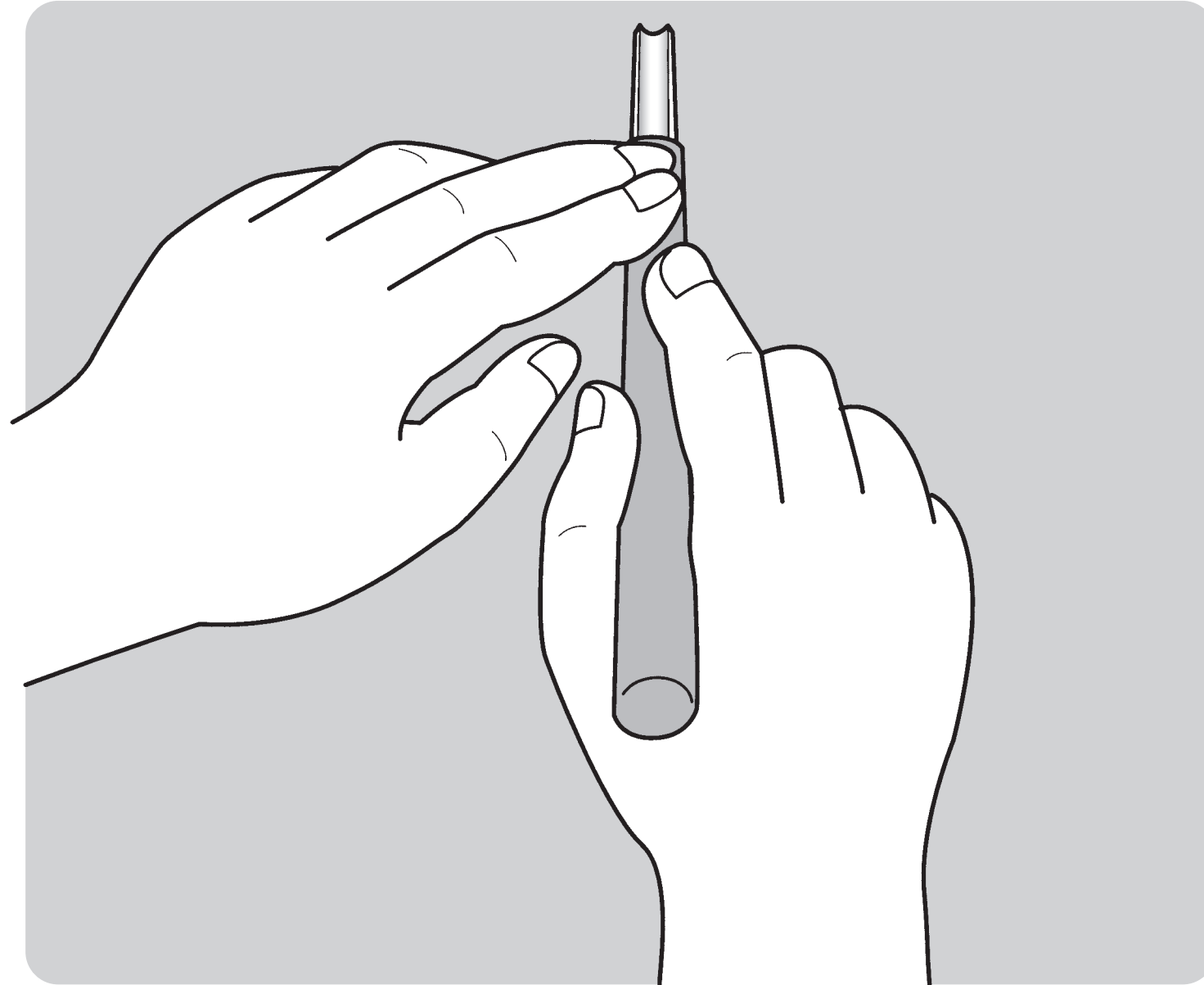


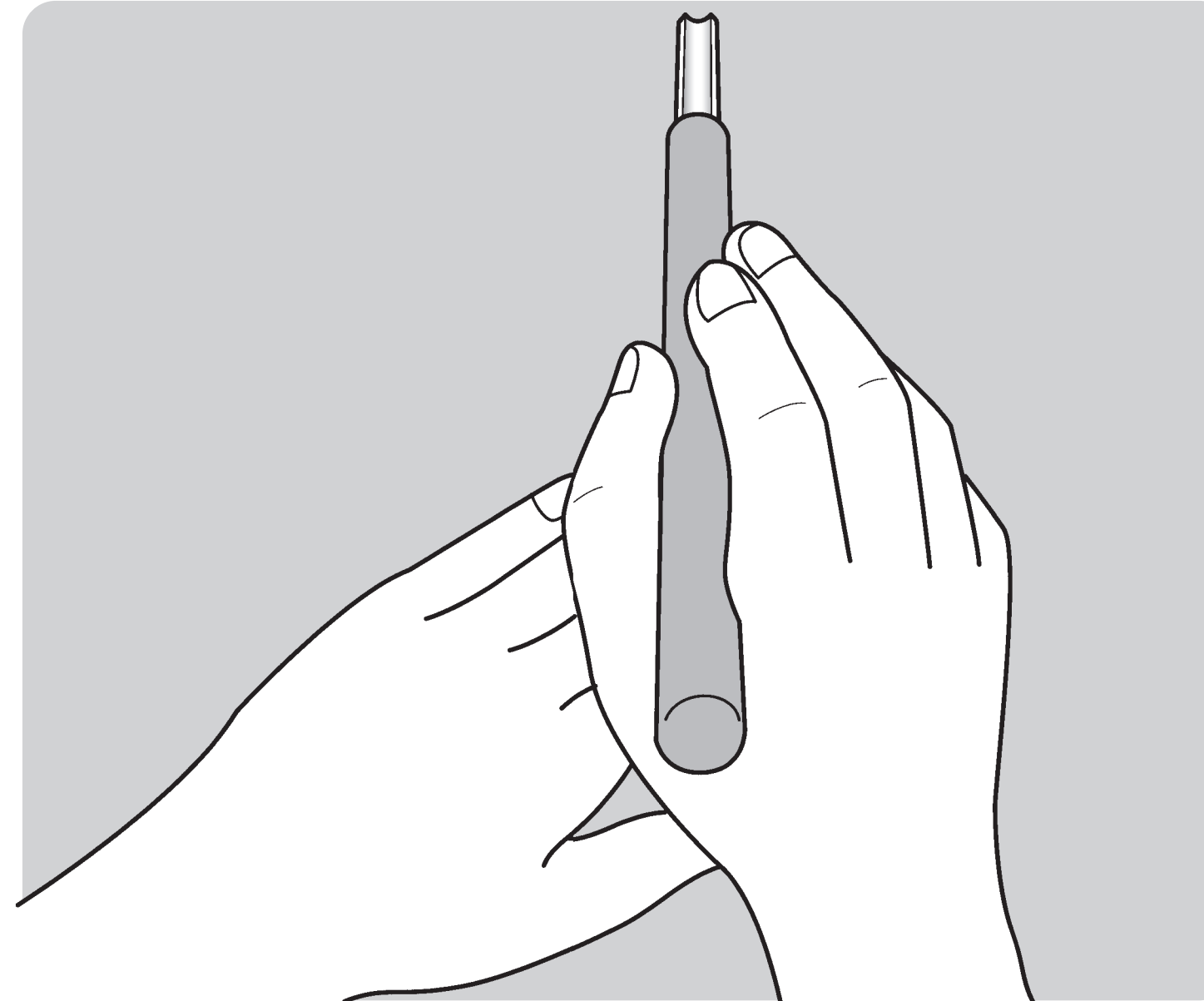
彫刻刀を安全にあつかいましょう!

彫刻刀の持ち方

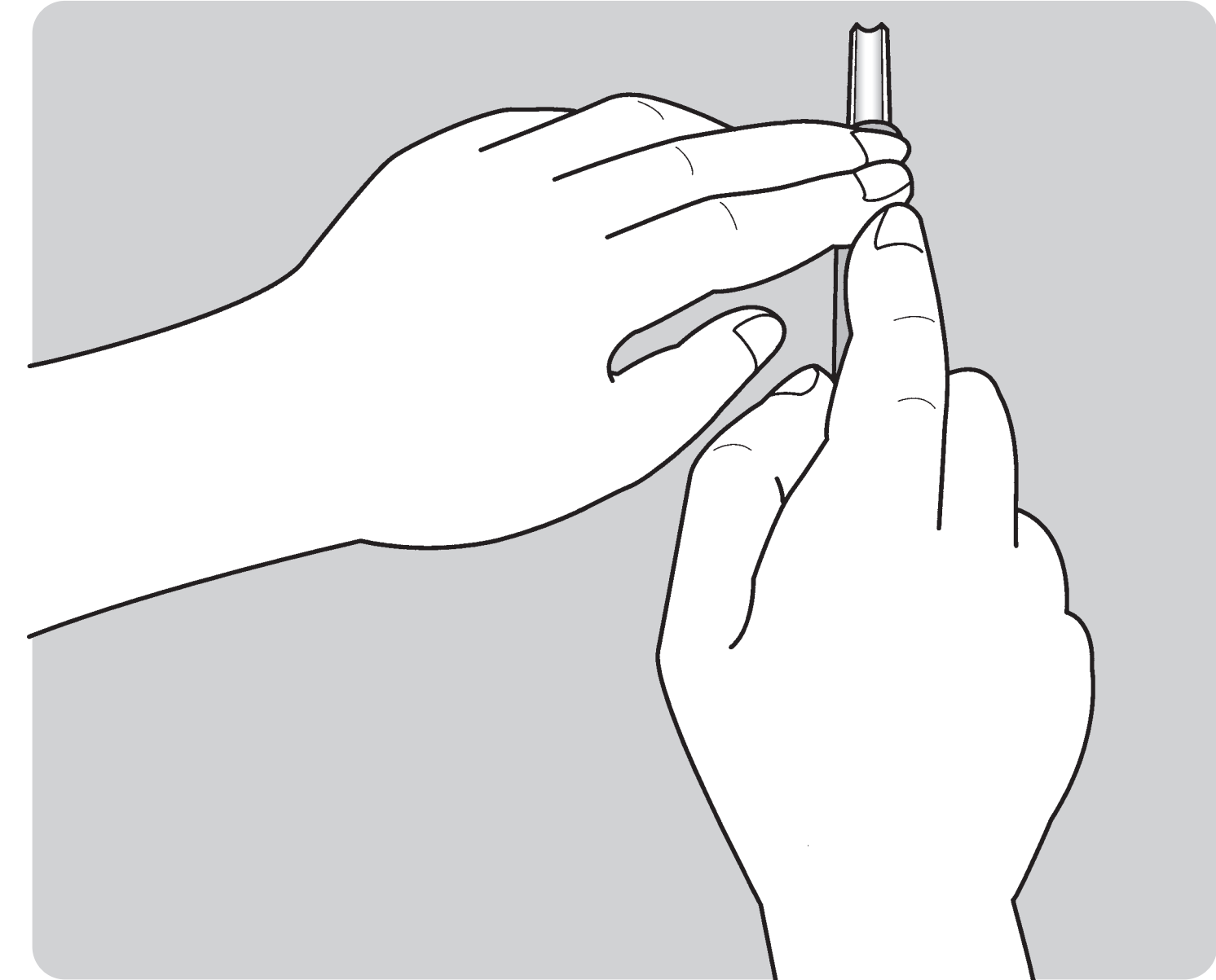
(きき手でえんぴつを持つようにして持ちます。片方の手で彫刻刀を安定させたり、版木をおさえながら、図のように使いましょう。)



●片方の手の人差し指と中指で柄の先をおさえ、彫刻刀の動きをコントロールします。



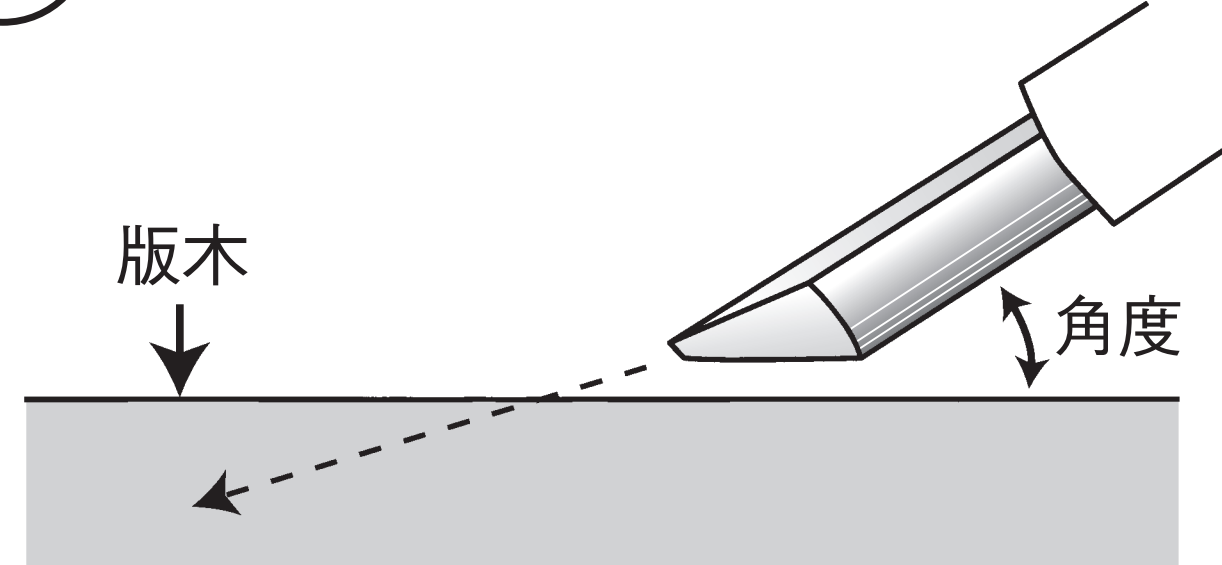
●片方の手で版木をおさえ、彫刻刀を持つ手をのせて安定させます。



●柄を手の内に、にぎりこんで使います。力が入りやすい持ち方です。

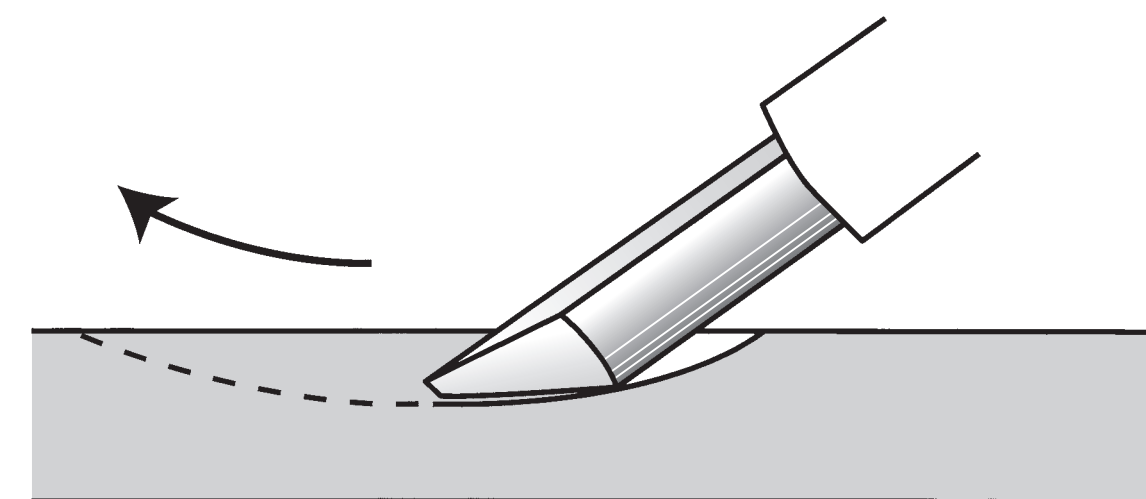
ほり進め方

① 角度をせまくしてほる。



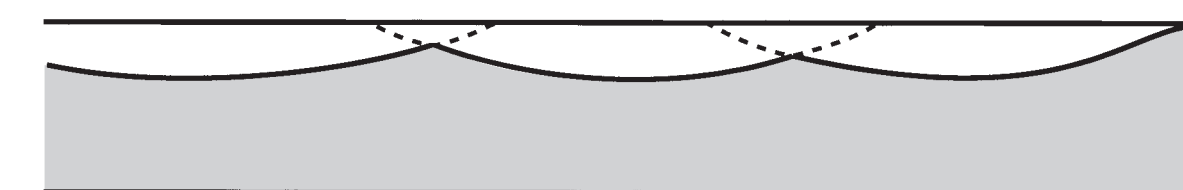
彫刻刀は版木のほる位置に対して角度をせまくしてあてます。

② すくい上げるようにほる。



少し力を入れて突きさし、すくい上げるようにしてほります。

③ くり返してほる。

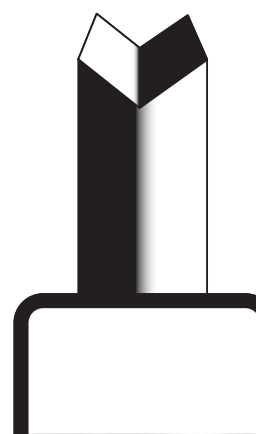


なめらかに②をくり返します。

※ 彫刻刀の持ち方とほり進め方は丸刀と三角刀を中心に、基本的な使い方として説明しています。

木版画作例と彫刻刀について ちょう こく とう (彫刻刀のご指導にお役立てください。)

彫刻刀でほるとき、力の入れ具合や、ほり重ね方によって、いろいろな表し方ができます。



三角刀

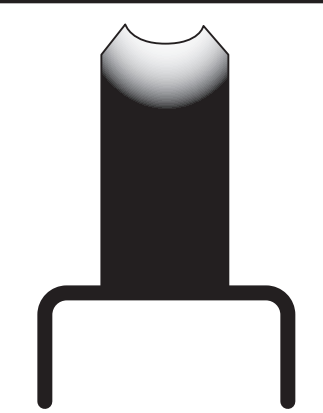
細く、すどい線がほれます。





※丸刀・小丸刀も同じです。

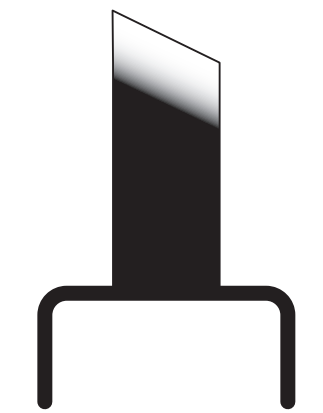




丸刀・小丸刀

やわらかい線がほれます。

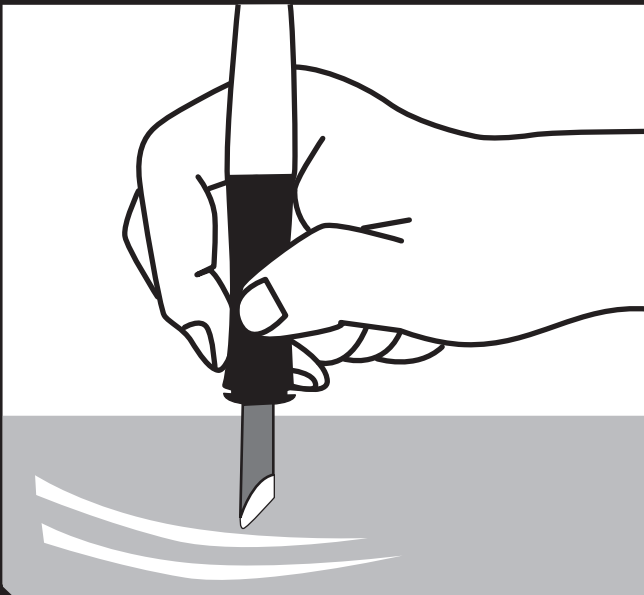


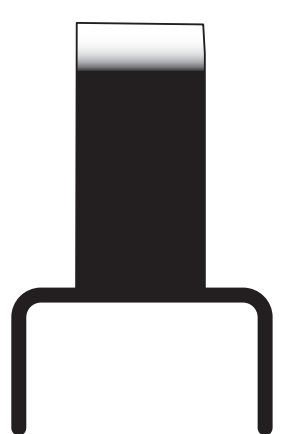


切り出し刀

形にそって先に切れこみを入れます、はみ出さずにほれます。



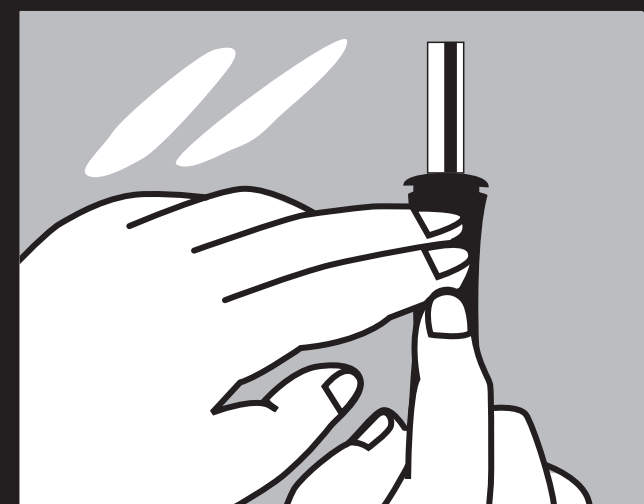




平刀

やわらかい感じで白くあらわせます。





文溪堂